

平成23年度確かな学力向上のための具体的取組 **評価**

大館市立第二中学校

ねらい：確かな学力の向上を図る

「確かな学力」		平成23年度の評価指標と実践課題	学校評価 自己評価B
①知識・技能の習得	○	【学習指導の充実】 ・学習意欲や学習態度を向上させる取組 ・諸検査結果の活用	() 昨年 4 (4)
②思考力・判断力・表現力の育成	▲		
③学習意欲・学習習慣	◎		
「確かな授業力」		【授業改善の推進】 ・構造化した授業づくり	4 (4)
④生徒指導の機能を生かした学習指導	◎		
		【開かれた心と自立心】 ・認め合い、高め合い、本音で語り合える学級づくり	4 (4)

共通実践事項	具体的な取組	達成状況	備考等(課題▲, 成果○)
① 学力向上を目指した学校間の積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> 小中連携研究会での、9年間の連続性を意識した授業参観の実施 ●生活や学習に関する小中の、共通実践事項の設定及び実践 生活や学習に関する小中の共通実践事項の確認 それぞれの諸検査結果と分析データの情報交換 授業検証の視点を明確にした校内相互参観の充実 市教研授業等交流を活用した積極的な授業参観 ●校外研修や授業等交流、参観の研修成果の共有化 	() 昨年 ○(○) ○ ○ ○(○) ○ ○ ▲	○年間2回の小中連携研究会を行い、生徒の実態や授業について情報交換ができた。 ▲小学校で習得した学習習慣(話型・ハンドサイン等)を中学校でも継続的に活用するためにこれまで以上の情報交換が必要であった。
② 「活用する力」を育てるための授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> 研究主題に基づいた、思いや考えを表現させる授業づくりのための授業研究の充実 教科における「個人研究課題」の設定 ●夏季研修会等、校内研究会における各教科の取組についての情報交換と共有化 T T, 少人数学習の実施方法の工夫 	○(◎) ◎ ▲ ◎(◎)	○研究主題に迫る個人研究に深まりがみられ、生徒の表現しようとする意欲に成果が見られた。 ▲校内外の研修の成果を共有する場の工夫が必要であった。

(● 重要な課題であると考えられる具体的な取組)